

国立国語研究所学術情報リポジトリ

20号の訂正

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://repository.ninjal.ac.jp/records/1901 |

◇・◇・◇・◇編集後記◇・◇・◇・◇

第21号には、10編の投稿があり、3編が採録されました。3編ははからずもすべて教師に注目したものでした。教師教育研究に資することを目的の一つとして掲げる本論集の特徴が強く示された号となったかと思います。また、論文の種別として「研究論文」「報告」「研究ノート」がありますが、この3編はいずれも「研究ノート」です。内容あるいは方法において萌芽的であり、今後の展開が強く望まれる論文は「研究ノート」という枠組みで紹介しています。今回の3編のテーマは、現在そして今後、日本語教育の世界で課題となる事柄を検討する上で、貴重な視点や資料を与えてくれるものとなりそうです。

また、今号では田中幸子さんを始めとする研究グループに御寄稿をお願いしました。日本語教育ではなく、フランス語教育での実践研究ですが、ITと言語教育がどうかかわっていくか、教師はどのような役割を果たす必要があるか、教師は何をもとに教育改善を行えばよいのか等、日本語教育が共有する課題は多いと考え、お書きいただきました。第20号の加納千恵子さんの御論文同様、研究する教師の姿が映し出された論文として、多くの方々にお読みいただくことを願っています。

そして、新しく「今号の読みどころ」を載せました。掲載論文について、推薦する点、課題、関連する情報等を編集委員が分担して執筆したものです。論文をお読みいただくときの参考にいただければ幸いです。

『日本語教育論集』は教室研究、学習者研究、教師教育研究など日本語教育の実践に深くかかわりのあるものを中心に取り上げることを主眼としております。このねらいは、号を重ねながら、少しずつ皆様にお伝えできつつあるようです。今後、本誌の特徴がより一層明確となり、日本語教育の実践にかかわる論文が数多く御紹介できるよう、編集委員一同、努力・工夫してまいります。

皆様の積極的な投稿を期待しております。また、本誌に関する御意見もお待ちしております。

編集委員会（記：金田）

*『日本語教育論集』ホームページ：<http://www.kokken.go.jp/jsl>

*御意見・御質問はこちらへ：ronshu@kokken.go.jp

*20号の訂正：2004年刊行の本誌第20号において、印刷ミスがありました。お手数ですが、訂正をお願いいたします。

p.34（左肩記載の論文種別） × 「質問・説明」 → ○ 「研究論文」

執筆者である文野峯子さんに多大な御迷惑をおかけしましたことを改めておわび申し上げます。